

2025(令和7)年度 愛児幼稚園 学校評価(自己評価)報告書

1 本園の教育目標

- ・キリスト教の教えに根ざした教育(賛美と感謝の心)
- ・一人ひとりを大切にする(思いやりの心)
- ・感性を育て、創造性を豊かにする(努力する心)
- ・社会貢献への自覚と態度を培う(奉仕する心)

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の特色であるカトリックの教えに根ざした教育、モンテッソーリ教育の更なる充実を目指し、研修を深め幼児一人ひとりの自立支援を目指す。
- ・緊急事態発生に備え危機管理マニュアルを教職員間で共通理解し、安全対策へ意識の向上を図ることの2点に重点的に取り組んだ。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
保育	C	モンテッソーリ活動の提示練習を園内研修の年間計画に組み入れたが、他の業務を入れてしまうなど、実行出来なかったことが多かった。提示練習は必須なので、次年度は無理なく実行できる計画を立て、確実に実行していくようにしたい。宗教教育については、計画通りに実行できたが、年齢別計画に重複している個所があったので、計画を見直し新たな計画表を作成し、次年度に続けて行く準備を行う事が出来た。
安全管理	A	緊急避難訓練を計画・実施していたが、今年度は専門機関の講師を招いて研修を行う事が出来た。これまで実施していた避難訓練の確認が出来、さすまたの使い方等新しい方法も学び、職員で共通理解をする事が出来た。

◎評価【A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった】

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
B	2つの項目に重点的に取り組んだ結果、安全管理においては、日頃取り組んでいる避難訓練の有効性が確認出来て良かった。保育においては、研修を計画通りに実行できなかった反省が出た。一人ひとりの幼児の成長を援ける質の高い教育を実践する為には、引き続き研修を深めていく必要がある事を職員で共通理解出来た。

◎評価【A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった】

5 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育	年齢別の年間指導計画の目標設定、実践、振り返り、改善、次の標設定(PDCA)を全職員で共有して保育の一貫性を図る。
2	環境	園庭に花壇、菜園などをつくり、自然環境を充実させ、植物の名前や季節の変化を身近に感じられる保育環境に取り組む。